

**K5-5093 ネビアス氏 MICS 前嚢破除鑷子、平ハンドル**



切開口は縮小し続けており、またサーजनからのリクエストもある為、現在 1.8mm切開口で使用できる多くの定番の前嚢破除鑷子を作成中です。これは嚢のタグの作成と破除作業を行う為の鋭い先端を搭載した、広く知られているネビアス氏式鑷子です。一度タグを作成すれば、プラットフォームで前嚢破除を行います。特別な内部機構により解放最大

値は 1.8mmに設定され、極小切開口への通過を容易にします。



**短ハンドル 新製品**

**K3-2411 ジャフィー-バチャート氏 水晶体核回転具 9mm、短ハンドル**



**K3-2328 永原氏 フェイコチョッパー、短ハンドル**



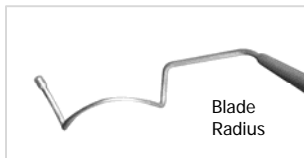
**K3-6171 ファイン-ソートン氏 転環固定リング 13mm、短ハンドル**



## K1-5696 シュー氏フェムト開瞼器

フェムトセカンドレーザーを使用した眼科手術は急速に増加しています。この術式で挙げられる改善課題のひとつに開瞼器があります。スタンダードなワイヤー開瞼器やリーバーマン氏式開瞼器は非フェムト術式には非常に適していますが、眼瞼や眼球へ不均一な圧力が掛かり、フェムト術中に困難を引き起こす場合が考えられます。これを解決すべく、カティーナはミネソタ州ブルーミントンのラルフ・シュー氏と協力し、フェムトセカンド手術用に新しい開瞼器を開発しました。

特許を取得した新しい“ダブルX”機構はブレードが等しく水平方向に分離して開瞼を調整します。この機構は術野を遮ることなく作業が可能ないようにブレードが開くようデザインされました。



また、16mmの平ブレードは眼瞼下に設置しやすく、半円形状のブレードは設置中の眼球表面の歪みが少なくなるよう考慮されました。フェムトセカンド術式用に開発された本品は、眼球上に過剰な圧力がかかるのが好ましくない手術（例：白内障、屈折矯正、緑内障）にも適しているとシュー氏は提唱します。この機構は特許を取得しているため他社で作ることは禁じられており、カティーナでのみ取扱いが可能です。

